

## SSR 議事録

日時 令和元年 9月4日 水曜日 19:30～

場所 ふれあい歯科五島

参加者 五島先生、栗原、袴田、胡谷、越後、本木、中川、高木、ライター佐々木さん

内容

### ①症例発表

「高度アルツハイマー型認知症を呈した症例」K-WORKER 本木 遙香

食事全介助で覚醒も低い方。今後、誤嚥性肺炎の可能性が高い。

食事摂取量の維持、今後も経口摂取が続けられるか？

福祉用具を自宅内に入れるのはご家族が拒否。

自宅内は掘りこたつで座椅子にて座位姿勢の調整を行った。

デイサービスに普通車椅子で通われており、デイでの食事経口摂取を続けられるのか？

〈ディスカッション〉

- ・自宅内の介助方法が統一されているため、福祉用具が介入できないのではないかと？
- ・現在、常時使っている座布団は生活や介助にマスト。座布団のしわ等で臀部が褥瘡にならないような関りをしていった方がいい⇒デイ・家族にも共有していくのが大事
- ・ヘッドのアシストがもう少ししっかりしたものがあればもっと頸部が起きてくるのではないかと？
- ・肘枕は置いた方が、肩の負担軽減となり座位姿勢の延長につながるのではないかと？
- ・食事摂取量の評価や体重測定等はなかなかおこなえていない  
⇒栄養自体が足りていない可能性もある。カロリーの確認も必要ではないかと？
- ・もともとあまり他者介入に消極的なご家族な印象  
⇒成功体験(本人が楽になった、座位姿勢保持が長く行えるようになったなど)のタイミングでもっと良くなる可能性がありますよと福祉用具の提案をしていければ
- ・ビーズクッションは頸部付近に使ってしまうと、呼吸で吸い込んで肺に張り付いてしまったという事例があるため避けた方がよい。
- ・頸部のポジショニングをもう少ししっかり取れば、もう少し食事が継続できそうでは？

⇒今後

- ・カロリーの確認
- ・ポジショニングの修正

### ②リーパットの紹介 栗原さんより

パラマウントベッドから出ている頭頸部ポジショニングに使える福祉用具

介護保険適応しているのは『リーパットプラス』(体位変換機能搭載)はレンタル可能。

次回 症例発表 袴田さん 10月7日月曜日 19:30～